

9月2日(木)

会場	9:00	9:30	12:30	14:00	15:10	17:15
受付						
A会場(第1講義室)	シンポジウム1 植物遺伝子組換え研究における変異ALSの利用		ランチョン セミナー	総会/授賞式	受賞講演	懇親会 (勝山館)
B会場(第10講義室)	シンポジウム2 植物オルガネラ～構造・機能・ダイナミクスを支える分子メカニズム					
C会場(第3講義室)	一次代謝/オミクス解析/二次代謝(1)					
D会場(第4講義室)	有用物質生産					
E会場(第5講義室)	遺伝子解析					

9月3日(金)

会場	8:30	9:00	13:00	16:00	17:00
受付					
A会場(第1講義室)	シンポジウム3 青いバラの次に来るもの～高効率な遺伝子組換え花きの作出と実用化のための最新技術			シンポジウム4 遺伝子組換え植物研究の新展開	
B会場(第10講義室)	二次代謝(2)			二次代謝(3)	
C会場(第3講義室)	遺伝子組換え植物(1)			遺伝子組換え植物(2)	
D会場(第4講義室)	蛋白質・酵素/環境応答・環境修復(1)			環境応答・環境修復(2)	
E会場(第5講義室)	細胞・組織培養/植物-微生物相互作用			発生分化・形態形成/成長制御	

大会プログラム

第1日目午前 A会場 (第1講義室) 9:30～

シンポジウム1 「植物遺伝子組換え研究における変異ALSの利用」

オーガナイザー: 清水 力(クミアイ化学工業(株))、高溝 正((独) 畜産草地研究所)

開始時刻

9:30	はじめに	清水力
9:35	1Aa-01 変異ALSを使った植物形質転換技術の構築	角康一郎・河合清・藤岡智則・堀田順子・清水力(クミアイ化学工業)
10:00	1Aa-02 GABA高含有米の作出を目的としたイネ形質転換	赤間一仁(島根大学・生物資源科学部)
10:25	1Aa-03 飼料用イネ形質転換	川田元滋・谷口洋二郎(農研機構・作物研究所)
10:50	1Aa-04 コムギ及びオオムギ形質転換	小川泰一(農業生物資源研究所)
11:15	1Aa-05 ダイズ形質転換	藤郷誠(農研機構・作物研究所)
11:40	1Aa-06 飼料作物及び芝草形質転換	高溝正・佐藤広子(農研機構・畜産草地研究所)
12:05	総合討論、おわりに	高溝正

第1日目昼 A会場 (第1講義室) 12:30～

開始時刻 ランチョンセミナー

主催: タカラバイオ

12:30	「次世代型高速シーケンサーによるゲノム解析から遺伝子発現解析への展開」	大場利治 (タカラバイオ・ドラゴンジェノミクスセンター)
-------	-------------------------------------	------------------------------

第1日目午後 A会場 (第1講義室) 14:00～

開始時刻 総会・受賞講演

14:00 総会、授賞式

受賞講演

15:10	(技術賞)	
受賞講演01	○篠山治恵 ¹ 、市川裕章 ² 、間竜太郎 ³ 、望月淳 ⁴ 、野村幸雄 ⁵ (¹ 福井県農業試験場、 ² 農業生物資源研究所、 ³ 農研機構花き研究所、 ⁴ 農業環境技術研究所、 ⁵ 福井県丹南農林総合事務所)	「雄性不稔性と害虫耐性を共発現する遺伝子組換えキクの開発と実用化の試み」
15:30	(技術賞)	
受賞講演02	○高木優、光田展隆、松井恭子、小山知嗣、平津圭一(産業技術総合研究所 ゲノムファクトリー研究部門)	「新しい遺伝子サイレンシング法(CRES-T)を用いた転写因子機能解析法の開発と応用」
15:50	(奨励賞)	
受賞講演03	尾形善之(理化学研究所 植物科学研究センター)	「植物遺伝子の網羅的な機能推定のための遺伝子共発現解析手法の開発と解析データベースの構築」
16:10	(奨励賞)	
受賞講演04	梅原三貴久(理化学研究所 植物科学研究センター)	「植物の枝分かれを抑制する新しいホルモン、ストリゴラクトンに関する研究」

第1日目午前 B会場 (第10講義室) 9:30~

開始時刻 シンポジウム2 「植物オルガネラ〜構造・機能・ダイナミクスを支える分子メカニズム」

オーガナイザー: 風間智彦(東北大院農)、中村崇裕(九州大院農)

9:30		はじめに	
9:35	1Ba-01	日本型イネ <i>Oryza sativa</i> ssp. <i>japonica</i> と南アメリカ原産野生イネ <i>O. glumaepatula</i> 間雑種に見出されたmitochondrial ribosomal protein L27遺伝子の重複と欠失による接合後生殖的隔離	山形悦透 ¹ ・山本英司 ² ・安益公一郎 ² ・Khin Thanda Win ¹ ・土井一行 ¹ ・Sobrizal ¹ ・伊藤友子 ² ・金森裕之 ² ・呉健忠 ³ ・松本隆 ³ ・松岡信 ² ・芦苺基行 ² ・吉村淳 ¹ (¹ 九大院・農・ ² 名大・生物機能・ ³ STAFF研・ ⁴ 生物研)
10:05	1Ba-02	植物ミトコンドリアのダイナミクスを支える分子メカニズム	有村慎一・堤伸浩(東京大院・農)
10:35	1Ba-03	植物細胞による葉緑体分裂制御機構及びその進化	宮城島進也・鈴木健二・岡崎久美子・壁谷如洋(理研・基幹研究所)
11:05	1Ba-04	オルガネラ遺伝子発現のキープレイヤー、PPR蛋白質の分子機能	中村崇裕、小林啓子(九州大院・農)
11:35	1Ba-05	デンプン粒の形状決定機構に関する分子細胞生物学的研究	松島良 ¹ ・前川雅彦 ¹ ・藤田直子 ² ・山下純 ¹ ・坂本亘 ¹ (¹ 岡山大・資源植物科学・ ² 秋田県大・生物資源)

第1日目午前 C会場 (第3講義室) 9:30~

開始時刻 オミクス解析／一次代謝／二次代謝(1)

9:30	1Ca-01	シロイヌナズナにおける非葉緑体局在型β-アミラーゼに関する研究	○高橋郁夫・原正和(静岡大・農)
9:42	1Ca-02	ハツカダイコン胚軸の肥大に伴い蓄積するタンパク質に関する研究	○虎澤大貴・高橋郁夫・永井春奈・原正和(静岡大・農・応用生物)
9:54	1Ca-03	ハツカダイコンインビトロ胚軸肥大系におけるβ-アミラーゼの発現	○永井春奈・滝口裕子・久保井徹・原正和(静岡大・農)
10:06	1Ca-04	寄生雑草ヤセウソボの発芽に関与するゲンチアノース分解酵素に関する研究	○若林孝俊 ¹ ・BeneshJoseph ¹ ・米山弘一 ² ・竹内安智 ² ・杉本幸裕 ³ ・村中俊哉 ¹ ・岡澤敦司 ¹ (¹ 大阪大院・工・ ² 宇都宮大・雑草研セ・ ³ 神戸大院・農)
10:18	1Ca-05	植物代謝産物の高速、高感度、広範囲分析をマネジメントする技術	○澤田有司 ¹ ・山田豊 ¹ ・長野睦 ^{1,2} ・斉藤和季 ^{1,3} ・平井優美 ^{1,2} (¹ 理研植物科学研究センター・ ² JST CREST・ ³ 千葉大院・薬学)
10:30	1Ca-06	オシメン合成酵素遺伝子を恒常的に発現させた組換えトレニアの生態系相互作用	下田武志 ¹ ・西原昌宏 ² ・小澤理香 ³ ・高林純示 ³ ・○有村源一郎 ^{3,4} (¹ 中央農業総合研究センター・ ² 岩手生物工学研究センター・ ³ 京都大・生態学研究センター・ ⁴ 京都大・理・生物科学)
10:42	1Ca-07	<i>Scoparia dulcis</i> のジテルペン生合成に関与するチクロームP450遺伝子の探索とその解析	○水口芳信・山村良美・黒崎文也(富山大院・薬)
10:54	1Ca-08	<i>Scoparia dulcis</i> のジテルペン生合成能活性化の情報伝達機構に関わるGTP結合タンパクの解析	○三田村俊明・山村良美・黒崎文也(富山大院・薬)
11:06	1Ca-09	植物イリドイド配糖化酵素における基質特異性制御部位の探索	○永利麻衣 ¹ ・浅田圭祐 ² ・寺坂和祥 ^{1,2} ・水上元 ^{1,2} (¹ 名市大院・薬・ ² 名市大・薬)
11:18	1Ca-10	Coexpression analysis leads to the identification of P450 implicated in triterpenoid saponin biosynthesis in <i>Medicago truncatula</i>	○福島エリオデット ^{1,2} ・関光 ^{1,2} ・大山清 ^{2,3} ・澤井学 ⁴ ・斉藤和季 ^{2,4} ・村中俊哉 ^{1,2,3} (¹ 横浜市大・木原生研・ ² 理研・PSC・ ³ 東工大・院・理工・ ⁴ 千葉大院・薬・ ⁵ 阪大院・工)
11:30	1Ca-11	薬用植物カンゾウのグリチルリチン生合成遺伝子の発現制御機構の解析(2)	○平岡靖子 ¹ ・関光 ^{1,2} ・高上馬希重 ³ ・村中俊哉 ^{1,2,4} (¹ 横浜市大・木原生研・ ² 理研・PSC・ ³ 北海道医療大・薬・ ⁴ 阪大院・工)
11:42	1Ca-12	花色突然変異体の効率的な誘導方法の開発	○岡村正愛 ¹ ・長谷純宏 ² ・梅基直行 ¹ ・鳴海一成 ² ・中山真義 ³ ・谷川奈津 ³ ・田中淳 ² (¹ キリンH・フロンティア技術研・ ² 原子力機構・量子ビーム・ ³ 農研機構・花き研究所)
11:54	1Ca-13	コピグメント色素を改変した遺伝子組換えトレニアの花色素変化	○吉田恵理・中塚貴司・西原昌宏(岩手生工研セ)
12:06	1Ca-14	リンドウのフラボノール合成酵素遺伝子の組織特異的発現	○木村惣一・中塚貴司・吉田恵理・齋藤美沙・西原昌宏(岩手生工研セ)

開始時刻	有用物質生産	
9:30	1Da-01 樹木細胞および内生菌を利用したタキソール生産に関する研究	○石野貴久 ¹ ・寺田珠実 ¹ ・鴨田重裕 ² ・鮫島正浩 ¹ (¹ 東大院・農・生物材料・ ² 東大院・農・樹芸研)
9:42	1Da-02 ショウガ由来の新規セスキテルペン合成酵素の構造と機能解析	○三沢典彦 ^{1,2} ・原田尚志 ¹ ・藤澤雅樹 ¹ ・兼目裕充 ³ ・水谷悟 ¹ (¹ キリンHD・フロンティア技術研・ ² 石川県大・生資研・ ³ 徳島文理大・薬・生薬研)
9:54	1Da-03 天然ゴム高生産にむけたパラゴムノキラテックス特異的高発現遺伝子群のプロモーター解析	○青木裕一 ¹ ・高橋征司 ¹ ・高山大輔 ³ ・尾形善之 ² ・櫻井望 ² ・鈴木秀幸 ² ・柴田大輔 ² ・古山種俊 ³ ・中山亨 ¹ (¹ 東北大学大学院・工学研究科・ ² かずさDNA研究所・ ³ 東北大学・多元物質科学研究所)
10:06	1Da-04 ミラクリン生産を目的とした植物工場用組換えトマトの開発	○加藤一幾 ¹ ・吉田理一郎 ¹ ・菊崎綾子 ² ・平井正良 ¹ ・黒田浩文 ² ・高根健一 ² ・棚瀬(日和佐)京子 ¹ ・江面浩 ¹ ・溝口剛 ¹ (¹ 筑波大・院・生命環境科学・ ² インプラントイノベーションズ)
10:18	1Da-05 塩ストレス下で栽培したミラクリン発現組換えトマトのミラクリン蓄積特性	○平井正良・黒川奈津子・加藤一幾・棚瀬(日和佐)京子・江面浩(筑波大院・生命環境科学)
10:30	1Da-06 ミラクリン遺伝子のコドン変化が組換えトマトのミラクリン蓄積量に及ぼす影響	○棚瀬(日和佐)京子・MpanjaNyarubon・平井正良・加藤一幾・江面浩(筑波大院・生命環境)
10:42	1Da-07 ミラクリン蓄積におよぼすHSPターミネーターの効果	○黒川奈津子・金有王・平井正良・加藤一幾・棚瀬(日和佐)京子・江面浩(筑波大・院・生命環境)
10:54	1Da-08 糖鎖構造が変更された遺伝子組換え植物の作出	○松尾幸毅・松村健(産総研・生物プロセス・植物分子)
11:06	1Da-09 ヒト・アディポネクチン組換えイチゴの作出とその解析	○安野理恵 ¹ ・加賀谷羽衣子 ² ・Marcelo SAndrade ² ・油井晶子 ² ・杉本千尋 ³ ・谷口孝喜 ⁴ ・松村健 ¹ ・田林紀子 ² (¹ 産総研・生物プロセス・ ² 北海三共・農業科学研・ ³ 北大・人獣共通・ ⁴ 藤田保健衛生大・医)
11:18	1Da-10 非拡散植物ウイルスベクターシステムの改変	○福澤 徳穂 ¹ ・石原岳明 ² ・一町田紀子 ² ・増田税 ³ ・松村健 ¹ (¹ 産総研・生物プロセス植物G・ ² ホクレン・農総研・ ³ 北大院農)
11:30	1Da-11 コレラワクチン米の生産技術	○笠原さおり ¹ ・和才昌史 ¹ ・新屋智崇 ¹ ・大島玲子 ¹ ・南藤和也 ¹ ・藤井裕二 ¹ ・福澤徳穂 ² ・松村健 ² ・高岩文雄 ³ (¹ 日本製紙(株)森林研・ ² 産総研・ ³ 農生研・ ⁴ 東大・医科研)
11:42	1Da-12 インフルエンザワクチンを蓄積させたイネの開発	○大島玲子 ¹ ・南藤和也 ¹ ・和才昌史 ¹ ・新屋智崇 ¹ ・高岩文雄 ² ・野地智規 ³ ・幸義和 ³ ・清野宏 ³ ・笠原さおり ¹ (¹ 日本製紙・森林研・ ² 農生研・ ³ 東大・医科研)
11:54	1Da-13 サツマイモにおける糖誘導性プロモーターを利用したGUSの発現	陸野耕司・安楽洋・○本間洋平・申英燮・山川隆(東大・農学国際)

第1日目午前 E会場 (第5講義室) 9:30~

開始時刻	遺伝子解析	
9:30	1Ea-01	フラボンを蓄積しないコスモスにおけるフラボンシンターゼII遺伝子の構造解析 ○雨宮虎太郎・堀川昌吾・今村順・肥塚信也(玉川大院・農)
9:42	1Ea-02	コスモスのクリムソンとピンク花色におけるF3H遺伝子の発現調節 ○金長早紀・堀川昌吾・今村順(玉川大院・農)
9:54	1Ea-03	シクラメンの花器官形成に關与する転写因子の解析 ○田中悠里・山村智通・杉山正夫・寺川輝彦(北興化学・開発研)
10:06	1Ea-04	シロイヌナズナ液胞膜トランスポーター遺伝子過剰発現による細胞内代謝および遺伝子発現への影響 ○青木考 ¹ ・佐々木亮介 ¹ ・須田邦弘 ¹ ・櫻井望 ¹ ・大西美輪 ² ・姉川綾 ² ・三村徹郎 ² (¹ かずさDNA研・ ² 神戸大・理)
10:18	1Ea-05	トマト液胞プロセシング酵素の発現抑制系統における糖含量解析 ○有泉亨・樋口賢二・新垣尚子・江面浩(筑波大・生命環境科学)
10:30	1Ea-06	トマト果実におけるGAD遺伝子の発現制御がGABA含量に及ぼす影響 ○高山真理子・小池悟志・AzziLamia・松倉千昭・江面浩(筑波大・院・生命環境)
10:42	1Ea-07	大和マナの黄化に伴い発現する遺伝子 ○浅尾浩史 ¹ ・團迫智子 ² ・奥田まみ子 ² ・西本登志 ¹ ・野本享資 ² (¹ 奈良農総セ・ ² 奈良中小企業支援セ)
10:54	1Ea-08	ミヤコグサ新規ARMタンパク質の遺伝子構造と水分ストレス応答性 ○梅崎修平・木下美幸・山田知恵・祝迫まゆみ・野口和斗・高原英成・小島俊雄(茨城大・農・分子生化)
11:06	1Ea-09	OsRecQ4 involves in DNA repair and homologous recombination ○Kwon Yong Ik ^{1,2} ・Abe Kiyomi ¹ ・Osakabe Keishi ¹ ・Nakayama Shigeki ¹ ・Toki Seiichi ^{1,2} (¹ NIAS・ ² YCU)
11:18	1Ea-10	イネ種子発芽期における貯蔵タンパク質分解に関わる遺伝子群の発現解析 ○山口雅祥 ¹ ・斉藤雄飛 ¹ ・中塚信明 ¹ ・森田重人 ^{1,2} ・佐藤茂 ^{1,2} ・石丸努 ³ ・近藤始彦 ³ ・増村威宏 ^{1,2} (¹ 京府大院・生命環境・応用生命・ ² 京都農技セ 生資セ・ ³ 農研機構・作物研)
11:30	1Ea-11	イネ胚乳分化期に組織特異的に発現する遺伝子群の網羅的解析 ○東田潤 ¹ ・斉藤雄飛 ¹ ・土居誠 ¹ ・森田重人 ^{1,2} ・佐藤茂 ^{1,2} ・石丸努 ³ ・近藤始彦 ³ ・増村威宏 ^{1,2} (¹ 京府大院・生命環境・ ² 京都農技セ 生資セ・ ³ 農研機構・作物研)
11:42	1Ea-12	スギの葯特異的発現遺伝子の空間的発現調節を司るシスエレメントの解析 ○栗田学 ^{1,2} ・谷口亨 ^{1,2} ・渡辺敦史 ² ・石井克明 ¹ (¹ 森林総研・森林バイオ・ ² 森林総研・林木育種セ)
11:54	1Ea-13	LD型細胞質雄性不稔イネに対する稔性回復遺伝子のクローニングおよび解析 ○板橋悦子・岩田夏子・藤井壮太・風間智彦・鳥山欽哉(東北大・院・農・応用生命)
12:06	1Ea-14	Oryza rufipogonに由来する細胞質雄性不稔性イネ3系統のミトコンドリアゲノム構造比較 ○村田隼人 ¹ ・風間智彦 ¹ ・本村恵二 ² ・鳥山欽哉 ¹ (¹ 東北大・農・応用生命・ ² 琉球大・亜熱帯農・植物生産)

第1日目午後 勝山館 17:15~

開始時刻	懇親会
17:15	懇親会

第2日目午前 A会場 (第1講義室) 9:00～

シンポジウム3 「青いバラの次に来るもの～高効率な遺伝子組換え花きの作出と実用化のための最新技術」

オーガナイザー: 大坪憲弘(花き研 新形質花き開発)、高木優(産総研 ゲノムファクトリー)

開始時刻

9:00	2Aa-01	花きCRES-Tプロジェクトで何を明らかにするのか	大坪憲弘(農研機構・花き研)
9:15	2Aa-02	CRES-T法はどこまで使えるようになったのか	光田展隆、大島良美、高木優(産総研・生物プロセス)
9:40	2Aa-03	遺伝子組換えによる新しい花作りのモデルケース —トレニアの花の改変とその効率化—	四方雅仁 ¹ 、鳴海貴子 ² 、佐々木克友 ¹ 、山口博康 ¹ 、間竜太郎 ¹ 、大坪憲弘 ¹ (¹ 農研機構・花き研、 ² 香川大・農)
10:05	2Aa-04	遺伝子組換えによるリンドウの多様化の可能性 —花色、形態から開花期まで—	中塚貴司、齋藤美沙、山田恵理、木村惣一、西原昌宏(岩手生工研)
10:30	2Aa-05	江戸の変化朝顔の美に遺伝子組換えで迫る —夏(ひとなつ)、珍奇な鉢花を楽しむ—	小野道之、中村美早紀、大関悠子、川崎真澄、小野公代(筑波大・遺伝子実験センター)
10:55	2Aa-06	花の形を変える分子育種 —バラのように咲くシクラメンを創る—	寺川輝彦、田中悠里、杉山正夫、山村智通(北興化学・開発研)
11:20	2Aa-07	新しいバラとカーネーションを創る試み	祇園景子 ¹ 、硯亮太 ¹ 、Ekaterina Mouradova ² 、田中良和 ¹ (¹ サントリー・植物科学研、 ² Florigene)
11:45		おわりに —CRES-T法の可能性と今後の展望について—	高木優(産総研・生物プロセス)

第2日目午後 A会場 (第1講義室) 13:00～

シンポジウム4 「遺伝子組換え植物研究の新展開」

オーガナイザー: 小泉 望(大阪府立大学大学院)

開始時刻

13:00		はじめに	小泉望(大阪府立大)
13:05	2Ap-01	組換え作物開発の進展と中国及び他のアジアの主要 途上国でのその導入状況	富田房雄(ISAAA 日本バイオ情報センター代表)
13:30	2Ap-02	アメリカにおける遺伝子組換え植物研究とそれを取り巻く 状況	佐藤卓(USDA)
13:55	2Ap-03	組換え植物のための共同利用・共同研究拠点	江面浩(筑波大学大学院)
14:20	2Ap-04	分子微生物学的手法による遺伝子組換え植物の環境 影響評価の試み	池田成志(北海道農研センター)
14:45	2Ap-05	メタボローム解析を用いた遺伝子組換え植物評価の試 み	草野都(理研・植物科学研究センター)
15:10	2Ap-06	植物工場を利用した組換え植物の生産	後藤英司(千葉大学大学院)
15:35		総合討論	
16:00		終了	

開始時刻	二次代謝(2)	
9:00	2Ba-01	キンギョソウのヒドロキシシナモイルトランスフェラーゼ遺伝子のクローニング ○名川賢治 ¹ ・杉山圭吾 ¹ ・小埜栄一郎 ² ・高橋征司 ¹ ・中山亨 ¹ (¹ 東北大院・工・バイオ工・ ² サントリーHD)
9:12	2Ba-02	ダイズのイソフラボン修飾・脱修飾酵素系のイソフラボン代謝調節への関与 ○Yoodong chan・原隆行・藤田直樹・高橋征司・中山亨(東北大・バイオ工学)
9:24	2Ba-03	植物イソプレノイド生合成を制御する転写因子の機能解析 ○万年一斗 ¹ ・高橋征司 ¹ ・松本拓朗 ¹ ・塚越正徳 ¹ ・佐野亮輔 ² ・鈴木秀幸 ² ・櫻井望 ² ・柴田大輔 ² ・古山種俊 ³ ・中山亨 ¹ (¹ 東北大学大学院・工学研究科・ ² かずさDNA研究所・ ³ 東北大学・多元物質科学研究所)
9:36	2Ba-04	シソ由来アントシアニン3-アシル基転移酵素遺伝子のククでの発現 ○野田尚信 ¹ ・間竜太郎 ¹ ・水谷正子 ² ・岸本早苗 ¹ ・田中良和 ² ・大宮あけみ ¹ (¹ 農研機構・花き研・ ² サントリー)
9:48	2Ba-05	クチナン培養細胞由来crocetin配糖化酵素の単離と機能解析 大脇美紀 ¹ ・永利麻衣 ¹ ・寺坂和祥 ¹ ・永津明人 ² ・水上元 ¹ (¹ 名市大院・薬・ ² 金城学院大・薬)
10:00	2Ba-06	ムラサキ培養細胞におけるロズマリン酸の液胞蓄積機構の解明 ○服部広・寺坂和祥・水上元(名市大院・薬)
10:12	2Ba-07	トウガラシ属植物果実におけるカロテノイドプロファイルの比較解析 ○伊藤隆 ¹ ・鈴木宗典 ¹ ・永田典子 ² ・坂智広 ¹ ・村中俊哉 ¹ (¹ 横浜市大・木原生研・ ² 日本女子大・理)
10:24	2Ba-08	野生トマト果実におけるグリコアルカロイドプロファイルの種間比較 ○飯島陽子 ^{1,2} ・佐々木亮介 ² ・竹中真紀子 ³ ・櫻井望 ² ・鈴木秀幸 ² ・柴田大輔 ² ・青木考 ² (¹ 神奈川工科大・栄養生命・ ² かずさDNA研・ ³ 食総研)
10:36	2Ba-09	マイクロスケール・ハイスループット・高精度ニトロベンゼン酸化法の確立 ○山村正臣 ¹ ・服部武文 ¹ ・鈴木史朗 ¹ ・柴田大輔 ² ・梅澤俊明 ^{1,3} (¹ 京大・生存研・ ² かずさDNA研・ ³ 京大・生存基盤)
10:48	2Ba-10	イソキノリンアルカロイド生合成系におけるbHLH型転写因子の機能解析 ○山田泰之 ¹ ・吉本忠司 ¹ ・茶木香保里 ¹ ・古株靖久 ¹ ・佐藤文彦(京大院・生命科学)
11:00	2Ba-11	ハナビシソウイソキノリンアルカロイド生合成系新規P450遺伝子の機能解析 ○竹村知也・池澤信博・佐藤文彦(京大院 生命科学)
11:12	2Ba-12	ルピナス属植物におけるキノリチジンアルカロイド生合成に関与するタンパク質の細胞内局在 ○鹿倉友美子 ¹ ・SomnukBunsupa ¹ ・斉藤和季 ^{1,2} ・山崎真巳 ^{1,3} (¹ 千葉大院・薬・ ² 理研・PSC・ ³ JST・CREST)
11:24	2Ba-13	カンプトテシンを高生産するチャボイナモリ毛状根特異的に発現するMYB様転写因子 <i>OpMYB1</i> について ○千葉基晶 ¹ ・浅野孝 ^{1,2} ・奥山淳 ¹ ・斉藤和季 ^{1,3} ・山崎真巳 ^{1,2} (¹ 千葉大院・薬・ ² JST・CREST・ ³ 理研・PSC)
11:36	2Ba-14	アメリカデイゴ(<i>Erythrina crista-galli</i> L.)の花におけるアントシアニン糖転移酵素の機能解析 ○有田哲矢・堀之内卓也・寺本進・吉玉國二郎(熊本大・院・自然科学)
11:48	2Ba-15	シロイヌナズナ由来アントシアニン糖転移酵素遺伝子の機能同定 ○榊原圭子 ¹ ・中林亮 ^{1,2} ・福島敦史 ¹ ・松田史生 ¹ ・井上恵理 ¹ ・菅原聡子 ¹ ・黒森崇 ¹ ・伊藤卓也 ³ ・篠崎一雄 ¹ ・Wangwattana Bunyapa ² ・山崎真巳 ² ・斉藤和季 ^{1,2} (¹ 理研・PSC・ ² 千葉大院・薬・ ³ 理研・基幹)

開始時刻	二次代謝(3)	
13:00	2Bp-01	シロイヌナズナフェノール配糖体に対するマロニル化酵素の解析 田中淳 ² ・○田口悟朗 ¹ (¹ 信州大・繊維・応生系・ ² 信州大院・工学系・応生)
13:12	2Bp-02	BY-2細胞におけるジャスモン酸誘導性新規トランスポーターの解析 ○南翔太 ¹ ・土反伸和 ¹ ・森田匡彦 ² ・澤田啓介 ³ ・伊藤慎悟 ² ・Alain Goossens ⁴ ・Dirk Inzé ⁴ ・守安正恭 ¹ ・森山芳則 ³ ・矢崎一史 ² (¹ 神戸薬科大学 生薬化学・ ² 京都大学 生存圏研究所・ ³ 岡山大学 薬学部・ ⁴ Ghent University)
13:24	2Bp-03	ホップ由来芳香族プレニル化酵素候補遺伝子 <i>HIPT-1</i> の単離と組織別発現解析 ○鶴丸優介 ¹ ・佐々木佳菜子 ¹ ・宮脇達也 ¹ ・門馬孝之 ² ・梅基直行 ² ・矢崎一史 ¹ (¹ 京大・生存研・ ² キリンHD・フロンティア技術研)
13:36	2Bp-04	イソプレン放出による高温耐性機構の解析 ○馬場奈央登・佐々木佳菜子・矢崎一史(京大・生存研)
13:48	2Bp-05	熱帯樹オオバギのプレニル化フラボノイド生成遺伝子の研究 ○清水亮 ¹ ・前田容子 ¹ ・佐々木佳菜子 ¹ ・鶴丸優介 ¹ ・福本修一 ² ・熊澤茂則 ³ ・矢崎一史 ¹ (¹ 京大 生存研・ ² ポッカコーポレーション・ ³ 静岡県大)
14:00	2Bp-06	メチルジャスモン酸処理による <i>Gynura bicolor</i> DC. のアントシアニン合成誘導 清水康弘 ^{1,2} ・○前田和寛 ¹ ・加藤美佳 ^{1,2} ・下村講一郎 ^{2,3} (¹ 三栄源エフエフアイ・ ² 東洋大院・生命科・ ³ 東洋大・植物機能セ)
14:12	2Bp-07	グループIIb-1 ERFの過剰発現によるT87培養細胞の細胞壁成分への影響 中野年継 ^{1,2} ・内藤由紀 ^{1,3} ・辻本弥生 ^{1,4} ・大槻並枝 ^{1,5} ・掛川弘一 ⁶ ・進士秀明 ^{1,7} ・○鈴木馨 ¹ (¹ 産総研・バイオメディカル・ ² 食品総合研・ ³ 産総研・IPOD・ ⁴ 東大・農・農学生命・ ⁵ 農業生物資源研・ ⁶ 森林総研・バイオマス化学・ ⁷ 産総研・産学官)
14:24	2Bp-08	ポプラ二次木部において高発現するMYB転写因子の機能解析 ○鈴木史朗 ¹ ・鶴巻勇太 ¹ ・服部武文 ¹ ・Chiang Vincent L. ² ・梅澤俊明 ¹ (¹ 京大・生存研・ ² ノースカロライナ州立大)
14:36	2Bp-09	ナス科ステロイド化合物の骨格部生成機構に関する解析 ○大山清 ^{1,2} ・橋之口裕美 ² ・鈴木優志 ² ・村中俊哉 ^{2,3} ・藤本善徳 ¹ (¹ 東工大・理工・物質科学・ ² 理研PSC・ ³ 横浜市大・木原生研)
14:48	2Bp-10	植物色素ベタキサンチンの酵素学的半合成 ○関口拓史・佐々木伸大・小関良宏(農工大・工・生命)

開始時刻	遺伝子組換え植物(1)	
9:00	2Ca-01	組換えレタスにおけるブタ浮腫病ワクチンタンパク質の高蓄積化 ○瀧田英司 ¹ ・松井健史 ¹ ・浅尾浩史 ² ・岡村憲一 ³ ・刈屋晴子 ⁴ ・佐藤寿男 ⁵ ・濱端崇 ⁵ ・川本恵子 ⁴ ・牧野壮一 ⁴ ・加藤晃 ⁶ ・澤田和敏 ¹ (¹ 出光先進技術研・ ² 奈良農総セ・ ³ 日本植生・ ⁴ 帯広畜産大・ ⁵ 国際医療研究セ・ ⁶ 奈良先端大・バイオ)
9:12	2Ca-02	植物細胞を用いて生産したブタ浮腫病ワクチンタンパク質の翻訳後修飾に関する解析 ○松井健史 ^{1,2} ・金城聖子 ^{1,2} ・瀧田英司 ¹ ・佐藤寿男 ^{1,3} ・濱端崇 ³ ・澤田和敏 ¹ ・加藤晃 ² (¹ 出光興産・先進技術研・ ² 奈良先端大・バイオ・ ³ 国立国際医療センター研)
9:24	2Ca-03	種子貯蔵タンパク質欠失ダイズによるアルツハイマー病エピソード高生産技術の開発 ○長谷川久和 ¹ ・高木恭子 ² ・西澤けい ² ・石本政男 ² ・丸山伸之 ³ ・内海成 ¹ ・寺川輝彦 ¹ (¹ 北興化学・開発研・ ² 農研機構・北農研センター・ ³ 京都大院農)
9:36	2Ca-04	血圧調整機能を有するノボキニン含有米の開発 ○高岩文雄 ¹ ・若佐雄也 ¹ ・吉川正明 ² (¹ 農業生物研・組換え作物開発・ ² 生産開発科学研・食品機能科学)
9:48	2Ca-05	遺伝子ターゲティング技術を利用したトリプトファン高蓄積イネの開発 ○雑賀啓明 ¹ ・及川彰 ² ・松田史生 ² ・小野寺治子 ¹ ・斉藤和季 ^{2,3} ・土岐精一 ^{1,4} (¹ 生物研・ ² 理研PSC・ ³ 千葉大院・薬学・ ⁴ 横浜市大・木原生研)
10:00	2Ca-06	イネの相同組換え開始酵素SPO11ホモログの解析 ○新宮良宣 ¹ ・草野好司 ² ・東海武史 ³ ・若狭暁 ³ ・柴田武彦 ¹ (¹ 理研・基幹研・ ² 京都工繊大・DRC・ ³ 東京農大・農)
10:12	2Ca-07	イネカルスを用いた組換え検出系の開発とSPO11活性の検出 ○室町直樹 ¹ ・新宮良宣 ² ・柴田武彦 ² ・若狭暁 ¹ (¹ 東京農大・農・ ² 理研・基幹研)
10:24	2Ca-08	RNAサイレンシング関連因子の抑制が導入遺伝子の発現に及ぼす影響 ○佐伯祐太・児玉浩明・平井清華(千葉大・園芸)
10:36	2Ca-09	コサプレッション株の葉と根におけるsiRNAの分布 児玉浩明・岡慎一郎・夏梅誠也(千葉大・園芸)
10:48	2Ca-10	翻訳抑制によってmRNAが安定化するタバコ遺伝子群の網羅的解析 ○樋口崇巳(千葉大・園芸)
11:00	2Ca-11	植物形質転換ネットワークによるトマト形質転換体作成の支援 ○江面浩 ¹ ・KangSeung Won ¹ ・河本晃一 ¹ ・七里玲奈 ¹ (筑波大院・生命環境科学 ¹)
11:12	2Ca-12	演題取消
11:24	2Ca-13	GFPを指標としたイネカルスにおけるエストロゲン誘導による遺伝子発現制御について ○奥崎文子 ¹ ・七里吉彦 ¹ ・小長谷賢一 ^{1,2} ・津田麻衣 ¹ ・田部井豊 ¹ (¹ 生物研・ ² 森林総研・森林バイオ)
11:36	2Ca-14	針状結晶ウイスカを利用したアグロバクテリウムによるカボチャ (<i>Cucurbita moschata</i>) の形質転換系の開発 ○七里吉彦 ¹ ・小長谷賢一 ^{1,2} ・奥崎文子 ¹ ・津田麻衣 ¹ ・田部井豊 ¹ (¹ 生物研・ ² 森林総研・森林バイオ)
11:48	2Ca-15	植物形質転換のためのスーパーアグロバクテリウムの開発と利用の現状 ○山本千草・染谷龍彦・Zhou Sha・野中聡子・中村幸治・江面浩(筑波大・院・生命環境科学)

開始時刻	遺伝子組換え植物(2)	
13:00	2Cp-01 シロイヌナズナ LKP2、COIによるジャガイモ塊茎形成の制御	○西山雄樹 ¹ ・菊池彰 ² ・乾秀之 ³ ・小倉康裕 ⁴ ・中曾根光 ⁴ ・高瀬智敬 ⁴ ・清未知宏 ^{1,4} (¹ 学習院大・院・自然科学・ ² 筑波大・遺伝子実験センター・ ³ 神戸大・遺伝子実験センター・ ⁴ 学習院大・理・生命科学)
13:12	2Cp-02 テルペン生合成遺伝子(<i>P10S</i>)を発現させた遺伝子組換え植物を用いた植物間の相互作用に関する解析	○室井敦 ^{1,2} ・小澤理香 ² ・西原昌宏 ³ ・高林順示 ² ・有村源一郎 ^{1,2} (¹ 京都大・理・生物・ ² 京都大・生態学研究センター・ ³ 岩手生物工学研究センター)
13:24	2Cp-03 ヘキソースリン酸トランスポーター遺伝子の過剰発現ダイズにおける脂肪酸組成と脂質含量	○山田哲也・柴田雅之・阿形宙也・喜多村啓介(北大・農)
13:36	2Cp-04 高等植物における各種ルシフェラーゼレポーター遺伝子の特徴づけについて	○小倉里江子 ¹ ・稲本敦 ² ・平塚和之 ² (¹ 横浜国大・VBL・ ² 横浜国大・環境情報)
13:48	2Cp-05 発光レポーター導入植物を用いたハイスループット化合物ライブラリースクリーニングについて	○平塚和之 ¹ ・小倉里江子 ² ・草間勝浩 ¹ ・尾形信一 ¹ (¹ 横浜国大・環境情報・ ² 横浜国大・VBL)
14:00	2Cp-06 ストレス耐性組換えユーカリの開発と野外試験	○松永悦子 ¹ ・南藤和也 ¹ ・大石正淳 ¹ ・森下宣彦 ² ・櫻井望 ² ・鈴木秀幸 ² ・柴田大輔 ² ・于翔 ³ ・菊池彰 ³ ・渡邊和男 ³ ・島田照久 ¹ (¹ 日本製紙・森林科学研・ ² かずさDNA研・ ³ 筑波大・遺伝子実験センター)
14:12	2Cp-07 組換えユーカリの耐塩性評価試験	○大石正淳 ¹ ・松永悦子 ¹ ・南藤和也 ¹ ・森下宣彦 ² ・櫻井望 ² ・鈴木秀幸 ² ・柴田大輔 ² ・菊池彰 ³ ・渡邊和男 ^{2,3} ・島田照久 ¹ (¹ 日本製紙・森林科学研・ ² かずさDNA研・ ³ 筑波大・遺伝子実験センター)
14:24	2Cp-08 ブロッコリー由来システインプロテアーゼとBarnaseを用いた雄性不稔性キュウリの作出と評価	○小長谷賢一 ^{1,2} ・七里吉彦 ¹ ・奥崎文子 ¹ ・津田麻衣 ¹ ・田部井豊 ¹ (¹ 生物研・ ² 森林総研・森林バイオ)
14:36	2Cp-09 キシログルカナーゼ過剰発現ポプラの隔離ほ場栽培試験	○谷口亨 ¹ ・栗田学 ¹ ・近藤禎二 ² ・石井克明 ¹ ・太田誠一 ³ ・馬場啓一 ⁴ ・林隆久 ⁵ (¹ 森林総研・森林バイオ・ ² 森林総研・林木育種センター・ ³ 京都大・農・ ⁴ 京都大・生存圏・ ⁵ 東京農大・バイオサイエンス)
14:48	2Cp-10 転写因子機能抑制技術CRES-T法用ベクターの改良	○大島良美 ¹ ・中田克 ¹ ・長屋進吾 ² ・加藤晃 ² ・光田展隆 ¹ ・高木優 ¹ (¹ 産総研・生物プロセス・ ² 奈良先端大・バイオ)
15:00	2Cp-11 CRES-T法を利用したリンドウの花色改変	○西原昌宏・齋藤美沙・吉田恵理・中塚貴司(岩手生工研セ)
15:12	2Cp-12 生育・形態形成に関するシロイヌナズナ転写因子のキメラリプレッサー導入によるセリバオウレンのベルベリン収量の改善	○乾貴幸 ¹ ・池田美穂 ² ・河野徳昭 ¹ ・川原信夫 ¹ ・高木優 ² ・吉松嘉代 ¹ (¹ 基盤研・薬植セ・筑波・ ² 産総研・生物プロセス)
15:24	2Cp-13 シロイヌナズナ由来形態形成関連遺伝子による薬用植物の形質改変	○河野徳昭 ¹ ・池田美穂 ² ・光田展隆 ² ・乾貴幸 ¹ ・川原信夫 ¹ ・高木優 ² ・吉松嘉代 ¹ (¹ 基盤研・薬植セ・筑波・ ² 産総研・生物プロセス)
15:36	2Cp-14 遺伝子組換え植物展示用ケースの開発	○大坪憲弘 ¹ ・原田嘉広 ² ・高木敏明 ³ ・鎌田博 ⁴ (¹ 農研機構・花き研・ ² 日本テクノサービス(株)・ ³ (株)プレスト・ ⁴ 筑波大・遺伝子実験セ)

開始時刻	蛋白質・酵素／環境応答・環境修復(1)	
9:00	2Da-01	ブドウ由来フラボノイド配糖体化酵素VvGT5の機能解析 ○小笠栄一郎 ¹ ・本間裕 ² ・堀川学 ³ ・土井聡 ² ・今井晴菜 ² ・高橋征司 ² ・河合洋介 ⁴ ・石黒正路 ³ ・福井祐子 ⁵ ・中山亨 ² (¹ サントリーホールディングス(株)・ ² 東北大・工・ ³ (財)サントリー生有研・ ⁴ 立命館大・生命科学・ ⁵ サントリーウエルネス(株))
9:12	2Da-02	ブドウ由来フラボノイド配糖体化酵素VvGT6の機能解析 ○今井晴菜 ¹ ・小笠栄一郎 ² ・本間裕 ¹ ・堀川学 ³ ・土井(國兼)聡 ¹ ・高橋征司 ¹ ・河合洋介 ⁴ ・石黒正路 ³ ・福井祐子 ⁵ ・中山亨 ¹ (¹ 東北大学大学院・工学研究科・ ² サントリーホールディングス(株)・ ³ (財)サントリー生有研・ ⁴ 立命館大学・生命科学部・ ⁵ サントリーウエルネス(株))
9:24	2Da-03	ビール大麦における凸腹粒に関するプロテオーム解析 ○甲斐浩臣・高田衣子・塚崎守啓・馬場孝秀(福岡県農業総合試験場)
9:36	2Da-04	イネ種子における小胞体由来I型プロテインボディの構造とその形成機構 ○斉藤雄飛 ¹ ・重光隆成 ¹ ・田中国介 ¹ ・森田重人 ^{1,2} ・佐藤茂 ^{1,2} ・黒田昌治 ³ ・増村威宏 ^{1,2} (¹ 京府大院・生命環境・応用生命・ ² 京都農技セ生資セ・ ³ 農研機構・中央農研)
9:48	2Da-05	園芸植物Portulaca oleracea由来ポリフェノールオキシダーゼの遺伝子単離と内分泌攪乱物質分解能の解析 ○金田洋和 ¹ ・松井健史 ² ・富安諒介 ¹ ・渡辺一平 ¹ ・黒田友佳子 ¹ ・松浦秀幸 ¹ ・原田和生 ¹ ・奥畑博史 ³ ・仲山英樹 ⁴ ・宮坂均 ³ ・加藤晃 ² ・平田收正 ¹ (¹ 大阪大・薬・ ² 奈良先端大・バイオ・ ³ 関西電力・ ⁴ 神戸大・自・研究環)
10:00	2Da-06	In situ UDP-glucose 再生系の存在下での二次代謝糖転移酵素の機能解析 ○水谷優希 ¹ ・二宮嘉規 ¹ ・永津明人 ² ・寺坂和祥 ¹ ・水上元 ¹ (¹ 名市大院・薬・ ² 金城学院大・薬)
10:12	2Da-07	硫黄同化系酵素ATPスルフィラーゼ過剰発現植物の解析 ○吉本尚子 ^{1,2} ・土屋有美子 ^{2,3} ・高橋秀樹 ^{2,3} ・斉藤和季 ^{1,2} (¹ 千葉大院・薬・ ² 理研・PSC・ ³ 横浜市大・木原研)
10:24	2Da-08	シロイヌナズナHisリッチデハイドリンのリン酸化と組織分布 ○原正和・篠田友里・鹿島大樹・久保正幸・久保井徹(静岡大・農・応生化)
10:36	2Da-09	イソチオシアネートによるシロイヌナズナのグルタチオン含量に及ぼす影響 ○田端杏子・久保井徹・原正和(静岡大・農・応生化)
10:48	2Da-10	イネにおけるHKTカリウム輸送体の過剰発現による耐塩性の上昇 ○丹波奈津美 ¹ ・森田重人 ^{1,2} ・丸山雅充 ¹ ・福岡あぐり ¹ ・堀江智明 ³ ・菅原満男 ⁴ ・矢内純太 ¹ ・増村威宏 ^{1,2} ・田中国介 ¹ ・萩原保成 ^{1,5} ・佐藤茂 ^{1,2} ・仲山英樹 ^{4,6} ・新名惇彦 ⁴ (¹ 京府大院・生命環境・ ² 京都農技セ生資セ・ ³ 岡山大・植物研・ ⁴ 奈良先端大・バイオ・ ⁵ 現横浜市大・木原生研・ ⁶ 現神戸大・先端融合研究環)
11:00	2Da-11	イネのカリウムイオン輸送体HAKの機能解析 ○岡田知之 ¹ ・仲山英樹 ² ・山口雅利 ¹ ・加藤晃 ¹ ・出村拓 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオ・ ² 神戸大・自然科学)
11:12	2Da-12	5'UTRはストレス環境下における翻訳状態を決定する重要な要因である ○加藤晃 ¹ ・武波慎也 ¹ ・松浦秀幸 ² (¹ 奈良先端大・バイオ・ ² 大阪大・薬学)
11:24	2Da-13	イネを対象とした熱ストレスによる翻訳状態の変化のゲノムワイド解析 ○上田清貴 ¹ ・久保佑喜 ¹ ・山口雅利 ¹ ・出村拓 ¹ ・松浦秀幸 ^{1,2} ・加藤晃 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオ・ ² 大阪大・薬学)
11:36	2Da-14	ストレス環境下でも翻訳が抑制されない5'UTRを活用した導入遺伝子発現系 ○久保佑喜 ¹ ・上田清貴 ¹ ・榎木智恵 ¹ ・山口雅利 ¹ ・出村拓 ¹ ・松浦秀幸 ^{1,2} ・加藤晃 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオ・ ² 大阪大・薬学)
11:48	2Da-15	熱ストレス環境下での翻訳制御に関わる5'UTRの配列の特徴 ○松浦秀幸 ³ ・武波慎也 ¹ ・納庄達也 ² ・金谷重彦 ² ・加藤晃 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオ・ ² 奈良先端大・情報・ ³ 大阪大・薬学)

開始時刻	環境応答・環境修復(2)	
13:00	2Dp-01	種子の長期保管におけるリスク条件の検討 ○内藤由紀 ¹ ・成廣隆 ¹ ・花田智 ¹ ・鈴木馨 ^{1,2} (¹ 産総研・特許生物寄託センター・ ² 産総研・バイオメディカル)
13:12	2Dp-02	高温ストレスを受けたイネ種子における貯蔵タンパク質の解析 ○重光隆成 ¹ ・斉藤雄飛 ¹ ・森田重人 ^{1,2} ・佐藤茂 ^{1,2} ・石丸努 ³ ・近藤始彦 ³ ・増村威宏 ^{1,2} (¹ 京府大院・生命環境・ ² 京都農技セ・生資セ・ ³ 農研機構・作物研)
13:24	2Dp-03	鉄欠乏下のヒヨス培養根からのリボフラビン放出は呼吸と関係する? ○比嘉中 ¹ ・森裕子 ¹ ・Khandakar Jebunnahar ¹ ・北村美江(長崎大・院・生産科学)
13:36	2Dp-04	シロイヌナズナの膜結合型転写因子bZIP60によるPDR12の制御 李美賢 ¹ ・崎山雅代 ¹ ・長島幸広 ¹ ・小泉望(大阪府大・生命環境)
13:48	2Dp-05	シロイヌナズナCvi-0エコタイプにおける気孔開閉の環境応答性SC3) ○門田慧奈 ¹ ・祢宜淳太郎 ¹ ・飯尾淳弘 ² ・杉本(橋本)美海 ¹ ・小嶋美紀子 ³ ・松田修 ¹ ・榎原均 ³ ・射場厚 ¹ (九州大・理・生物科学・ ² 国立環境研・ ³ 理研PSC)
14:00	2Dp-06	オゾンストレスによりイネ葉中で誘導される遺伝子の発現解析 ○植田佳明 ¹ ・石川小百合 ¹ ・上原直子 ² ・佐々木治人 ² ・小林和彦 ¹ ・山川隆 ¹ (¹ 東大・農学国際・ ² 東大・生態調和農学機構)
14:12	2Dp-07	砂漠植物における適合溶質シトルリンの生合成メカニズム ○明石欣也 ¹ ・三輪和哉 ¹ ・高原健太郎 ¹ ・高原(芳野)杏利 ¹ ・横田明穂(奈良先端大・バイオ)
14:24	2Dp-08	Thellungiella halophila転写因子を用いたストレス耐性付与遺伝子のFull-length cDNA overexpressor gene hunting ○鈴木江莉奈 ¹ ・坂田洋一 ¹ ・林隆久 ¹ ・篠崎一雄 ² ・太治輝昭 ¹ (¹ 東京農業・バイオ・ ² 理研PSC)
14:36	2Dp-09	塩生植物イグサにおけるプロリンリッチタンパク質の役割 ○山田晃世 ¹ ・宮崎仁雄 ¹ ・連真人 ¹ ・小関良宏(農工大・生命)
14:48	2Dp-10	トマトの低温応答性転写因子ICE1 (Inducer of GBF Expression) ホモログと低温シグナル ○湯浅高志 ¹ ・井上眞理(九大・農・資源生物)
15:00	2Dp-11	高温応答の終息を制御するリプレッサー: Class B Hsfの解析 ○池田美穂 ¹ ・光田展隆 ¹ ・高木優(産総研・生物プロセス)
15:12	2Dp-12	大気中二酸化窒素の植物バイタリゼーション効果の原因遺伝子 ○高橋美佐 ¹ ・柏原 俊一 ¹ ・古橋孝将 ¹ ・坂本敦 ¹ ・江面浩 ² ・森川弘道 ¹ (¹ 広島大・院理・ ² 筑波大・院生命環境科学)
15:24	2Dp-13	遺伝学的手法を用いたシロイヌナズナの新規カドミウム耐性遺伝子の探索 ○岡田夕賀子 ¹ ・中村敦子 ¹ ・市川和樹 ¹ ・小嶋和明 ¹ ・大野豊 ² ・小林泰彦 ² ・太治輝昭 ¹ ・林隆久 ¹ ・坂田洋一 ¹ (¹ 東農大・バイオ・ ² 原研高崎)

開始時刻	細胞・組織培養／植物-微生物相互作用	
9:00	2Ea-01 理研BRCにおける植物培養細胞リソース整備の現状	○小林俊弘・安部洋・井内聖・小林正智(理研・BRC)
9:12	2Ea-02 チューリップのシュート伸長に及ぼす液体培地およびシヨ糖濃度の影響	○山崎千夏・荏司和明(富山県農総技セ・農研)
9:24	2Ea-03 センブリの組織培養	○川上寛子・原光二郎・小峰正史・山本好和(秋田県大・生資・生産)
9:36	2Ea-04 ガラス化法による薬用植物カサスの超低温保存(2)	○吉松嘉代 ¹ ・河野徳昭 ¹ ・乾貴幸 ¹ ・佐藤文彦 ² ・土反伸和 ³ ・矢崎一史 ⁴ ・木内文之 ⁵ ・川原信夫 ¹ (¹ 基盤研・薬植セ・ ² 京大院・生命・ ³ 神戸薬大・ ⁴ 京大・生存研・ ⁵ 慶應大・薬)
9:48	2Ea-05 柑橘類培養細胞の常温におけるガラス化とその保存	田中寛子 ¹ ・畑中理恵 ¹ ・國武久登 ² ・菅原康剛 ¹ (¹ 埼玉大・院・理工・ ² 宮崎大・農・応用生物)
10:00	2Ea-06 アグロバクテリウム法によるイネ液体振とう培養細胞を用いた高頻度相同組換え系の確立	○小沢憲二郎・若佐雄也・川東広幸・高岩文雄(農生研)
10:12	2Ea-07 培養変異で作出した除草剤耐性イネ	○清水力 ¹ ・角康一郎 ¹ ・種谷良貴 ¹ ・藤岡智則 ¹ ・堀田順子 ¹ ・奥崎文子 ³ ・鳥山欽哉 ² (¹ クミアイ化学工業(株)・ ² 東北大学院農学研究科・ ³ (独)農業生物資源研究所)
10:24	2Ea-08 In Vitro Propagation and Transgenic Callus Induction of Tropical Acacia	○Rahman Md. Mahabubur ¹ ・鈴木史朗 ¹ ・服部武文 ¹ ・三位正洋 ² ・梅澤俊明 ¹ (¹ 京大・生存研・ ² 千葉大・園芸)
10:36	2Ea-09 ハチク肥大生長過程の組織化学的解析	○荻田信二郎・重見竜作・野村泰治・加藤康夫(富山県立大・工・生物工学)
10:48	2Ea-10 ブナ(<i>Fagus crenata</i> BLUME)冬芽の培養による植物体の再生	○大宮泰徳・半田孝俊・星比呂志(森林総研・林育セ・東北)
11:00	2Ea-11 植物培養細胞由来の糖転移酵素を活用した生理活性物質配糖体の効率的合成	○濱田博喜 ¹ ・中山亨 ² ・小崎紳一 ³ ・今井博也 ¹ ・北川恵 ¹ (¹ 岡山理大院・理・臨床生命・ ² 東北大学・工・ ³ 山口大学・農)
11:12	2Ea-12 花粉プロトプラストによる植物アクアポリンの機能解析法	○塩田肇 ^{1,2} ・梁田健一 ¹ ・山田佳史 ² ・松澤篤史 ² ・田中一郎 ^{1,2} (¹ 横浜市大・生命ナノシステム・ ² 横浜市大・国際総合科学)
11:24	2Ea-13 白葉枯病圃場抵抗性に関与する新規イネSAUR遺伝子の単離	○青木秀之 ¹ ・山元剛 ¹ ・宮尾安藝雄 ² ・廣近洋彦 ² ・矢頭治 ¹ (¹ 中央農研・ ² 生物研)
11:36	2Ea-14 サリチル酸応答性タンパク質の網羅的解析によるシラカンバ幼植物体における全身獲得抵抗性誘導機構の解明	○鈴木拓 ¹ ・高島有哉 ² ・石栗太 ¹ ・飯塚和也 ¹ ・吉澤伸夫 ¹ ・横田信三 ¹ (¹ 宇大・農 ¹ ・農工大連合・農 ²)
11:48	2Ea-15 カバノアナタケ菌IO-U1株に感染したシラカンバNo. 8幼植物体内における防御反応と菌糸伸長の経時変化	○鈴木美帆 ¹ ・高島有哉 ² ・石栗太 ¹ ・飯塚和也 ¹ ・吉澤伸夫 ¹ ・横田信三 ¹ (¹ 宇大・農・ ² 農工大連合・農)

開始時刻	発生分化・形態形成／成長制御	
13:00	2Ep-01	シュート再生過程における <i>ESR1/ESR2</i> の発現パターン解析 ○牧野美保・松尾巨樹・坂野弘美(中部大・応用生物)
13:12	2Ep-02	シロイヌナズナの花器官形成における <i>ESR1/ESR2</i> と <i>ENP</i> の遺伝的相互作用 ○松尾巨樹・牧野美保・坂野弘美(中部大・応用生物)
13:24	2Ep-03	第2ウォールが萼化したトレンニア変異表現型の原因は <i>TRUFO</i> 機能欠損に由来する ○佐々木克友 ¹ ・山口博康 ¹ ・間竜太郎 ¹ ・四方雅仁 ¹ ・阿部知子 ² ・大坪憲弘 ¹ (¹ 農研機構・花き研・ ² 理研・仁科センター)
13:36	2Ep-04	リンドウから単離したMADS box遺伝子の機能解析 ○齋藤美沙・中塚貴司・西原昌宏(岩手生工研セ)
13:48	2Ep-05	超短周期下における花成遅延の分子機構の解析 ○杉山春菜・夏井悠・宮田佳奈・溝口剛(筑波大・生命環境1)
14:00	2Ep-06	植物の形態統御における概日時計因子LHY/CCA1と明暗周期の役割 ○溝口剛・宮田佳奈・Nefissi Rim・夏井悠・鈴木俊二・渥美太郎・杉山春菜・Fort Antoine・加藤一幾・牛木亜季・原美由紀(筑波大・生命環境科学)
14:12	2Ep-07	チュウゴクザサにおけるFTホモログの機能解析 本田知之・東順一・○坂本正弘(京大・院農・地域環境)
14:24	2Ep-08	イネのPIN遺伝子の同定とシュートにおける発現解析 ○高杉知彰 ¹ ・宮下結衣 ² ・伊藤幸博 ¹ (¹ 東北大院・農・ ² 京都大院・生命 ²)
14:36	2Ep-09	イネの配偶体型雌性不稔突然変異体の同定 ○櫻村理恵・伊藤幸博(東北大・農・応用生命)
14:48	2Ep-10	イネミトコンドリア遺伝子のRNAエディティングに関わるPPRタンパク質 ○戸田拓士 ¹ ・藤井壮太 ² ・鳥山欽哉 ¹ (¹ 東北大・農・応用生命・ ² ARC, Western Australia Univ.)
15:00	2Ep-11	転写因子を用いた道管分化誘導システム ○山口雅利 ^{1,2} ・Nadia Goue ¹ ・五十嵐久子 ¹ ・大谷美沙都 ^{1,3} ・中野仁美 ^{1,4} ・Mortimer Jennifer C ⁵ ・西窪伸之 ¹ ・久保稔 ¹ ・片山義博 ⁴ ・掛川弘一 ⁶ ・Dupree Paul ⁵ ・出村拓 ^{1,2,3} (¹ 理研PSC・ ² 奈良先端大バイオ・ ³ 理研バイオマス工学・ ⁴ 東農工大院BASE・ ⁵ Dept. Biochem. Univ. Cambridge・ ⁶ 森林総研)
15:12	2Ep-12	プロテインホスファターゼ2C(PP2C)によるバイオマス増産とその機能解析 ○近藤聡 ¹ ・杉本広樹 ² ・村本伸彦 ² ・田中倫子 ² ・服部悦子 ¹ ・小川健一 ³ ・光川典宏 ² ・大音徳 ¹ (¹ トヨタ自動車・バイオラボ・ ² 豊田中研・バイオ研・ ³ 岡山生物研)
15:24	2Ep-13	CRES-T法を用いた種子貯蔵油脂増産技術の開発 ○村本伸彦 ^{1,2} ・光川典宏 ^{1,2} ・田中倫子 ¹ ・近藤聡 ² ・米倉円佳 ² ・松井恭子 ³ ・光田展隆 ³ ・高木優 ³ ・大音徳 ² (¹ 豊田中研・バイオ研・ ² トヨタ自動車・バイオラボ・ ³ 産総研・ゲノム)
15:36	2Ep-14	イネTIFYタンパク質遺伝子の過剰発現は植物の生育促進および種子胚乳肥大をもたらす ○羽方誠 ^{1,2} ・村松昌幸 ² ・岡義人 ² ・中村英光 ^{2,3} ・原奈穂 ² ・田切明美 ² ・黒田昌治 ¹ ・清田誠一郎 ² ・川越靖 ² ・土岐精一 ^{2,4} ・長村吉晃 ² ・廣近洋彦 ² ・高野誠 ² ・山川博幹 ¹ ・市川裕章 ² (¹ 中央農研・北陸・ ² 生物研・ ³ 東大院農生科・応生化・ ⁴ 横浜市大・木原生研)